



尾道市立市民病院広報誌

第32号

発行日：平成28年1月

〒722-8503

尾道市新高山3丁目1170-177

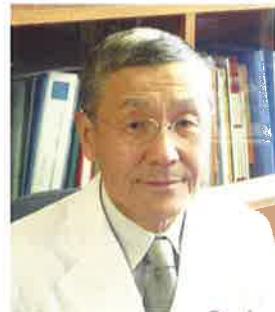
tel: 0848-47-1155

fax: 0848-47-1004

<http://www.onomichi-hospital.jp/>

● 尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

院長 土本 正治

新年あけましておめでとうございます。

平素より当院の運営にご支援を頂き、深く感謝しております。

昨年は天災、火山噴火などの自然災害に国内各地がみまわれた年でした。当地は自然災害を被るリスクの少ない土地柄ではありますが、災害に対する準備も必要と思われ、昨年12月には大規模災害訓練も実施しております。

さて、昨年より、地域医療構想に基づく病床再編成の取り組みや、新公立病院改革プランの作成などを講ずることが迫られてまいりました。今後の少子高齢化に伴う疾病構造の変化を考慮し、この地域にふさわしい医療計画を立案する必要があります。

また、当然介護との連携を含めた取り組みも必要となっております。これからも当院は、急性期病院としての責務と、在宅介護をサポートする体制を維持する所存であります。

今年は診療報酬改正の時期になりますが、医療経済面で、今後も厳しいことが想定されます。当院は、昨年から常勤医師の減少を余儀なく強いられ、それでも地域医療を守るために、その使命を全うすべく、職員一同業務に励んでおります。

喜ばしいこととしては、平成28年度の初期研修医のマッチングで1名の応募があり、当院での研修が開始されます。みつぎ総合病院とともに初期研修医の教育にも頑張ってまいります。

平成28年度にはMRIの更新も予定しており、地域支援病院の責務として高度医療機器の整備も充実させたいと思っております。

今後も地域医療のために全力で貢献いたしますので、本年もよろしくお願ひ致します。

下肢静脈瘤の高周波治療について

血管外科 医長 越智 吉樹

平成26年6月から、高周波による下肢静脈瘤血管内焼灼術が保険収載され、当科でも平成27年8月から導入しました。

コヴィディエン社のエンドヴィーナスクロージャーシステムを使用しており、このシステムは460キロヘルツの高周波を利用して120°Cの温度で静脈壁を焼灼することで、静脈壁のコラーゲン繊維を熱変性肥厚させて内腔を閉塞させるというものです。

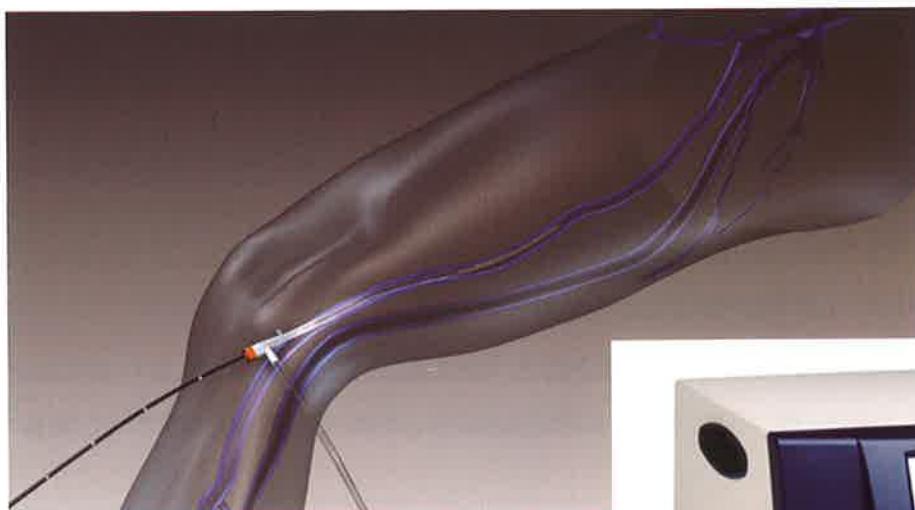
特長として、周囲組織への影響が少ないことが上げられ、術後の疼痛や皮下出血が軽微であるとされています。また、高周波カテーテルの静脈内への挿入が穿刺もしくは小切開でのカットダウンで行われるため、手術痕が目立たず美容的であるともされています。

血管内焼灼術は静脈径が大きすぎる場合や静脈の高度屈曲がある場合には適応外になり、下腿下部等の神経近接部では神経熱傷のリスクが高いため適応から外れますので、従来の手術(抜去術、高位結紮術等)を選択することになります。

当科では局所麻酔と静脈麻酔の併用で治療を行っており、手術当日の退院も可能ですが、翌日の外来受診が必須であるため、1泊2日入院を希望される患者様が大半を占めています。

平成27年11月25日までの治療症例数は21例と少数で、術後の観察期間も最長で約3ヶ月と短いですが、再疎通は認められておらず、血栓塞栓症等の重篤な合併症も認められていません。

それぞれの患者様に最も適した治療を行い、手術してよかったですと喜んでいただきたいと考えています。



高周波カテーテルを血管内に挿入



エンドクロージャーシステム コヴィディエン社



インフルエンザの流行と治療

流行の仕組み・・・



私たちの体の防御機構を“免疫”といいます。免疫とは抗原抗体反応といい、鍵と鍵穴の関係です。

病気のもとになるウイルスや細菌の違い(抗原)を正確に認識して、それに見合った抗体を体の中で作りだし、この抗体が抗原とぴったりとくっ付いて抗原を中和し、感染から身を守ります。

例えば、インフルエンザウイルスの一種であるA型インフルエンザウイルスの表面には、HA、NAといった突起物があり、同じA型であっても、微妙に突起物の性質(抗原)が頻繁に変わり、ワクチン接種によりつくられた抗体では対応できなくなってしまいます。これによりインフルエンザは毎年流行することになるのです。

インフルエンザワクチンとは・・・

無毒化した抗原を接種して、それに見合った抗体を体内で作り出させ、感染を防止、または発病しても回復を早める働きを持たせるものをワクチンといいます。

接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、またその効果は約5ヵ月続くといわれています。よって、12月下旬～3月上旬の流行期に備えて、12月上旬ごろに接種することが推奨されています。

インフルエンザ治療薬について・・・

現在のインフルエンザ治療薬は、インフルエンザウイルスを殺すわけではなく、増殖を抑える作用を持ちます。増殖を抑えるため、ウイルスが既に増殖してしまった後では薬の効果がありません。そのため発症早期、具体的には48時間以内に薬物治療を開始する必要があります。

インフルエンザ治療薬には飲み薬、吸入薬、注射薬等、様々な剤形があります。

商品名	タミフル®	リレンザ®	イナビル®	ラピアクタ®
一般名	オセルタミビルリン酸塩	ザナミビル水和物	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物	ペラミビル水和物
剤形	内服 (カプセル剤、散剤)	吸入	吸入	注射

お薬やワクチンについて御不明な点は、お近くの医師、または薬剤師にご相談ください

～ 知って守ろう！ 冬に流行する2大感染症～

感染管理認定看護師 内海 友美

平素より、当院における感染防止対策にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

冬は空気が乾燥して気温が低くなることから、感染症がピークを迎える季節でもあります。そこで今回は、冬に流行する2大感染症とその予防策をご紹介します。

ノロウイルス【感染キーワード：食べる、口から取り込む】

ノロウイルスに感染する要因

- ◆ 食べ物→ヒト（食中毒）：ノロウイルスは牡蠣など二枚貝の内臓（中腸腺）に蓄積されます。特に、牡蠣は生で内臓を含めた全てを食べることから、感染する要因となります。
- ◆ ヒト→食べ物→ヒト（食中毒）：ノロウイルスに感染した人が、十分に手を洗わずに調理することで食品が汚染されます。その汚染された食品を食べることが、感染する要因となります。
- ◆ ヒト→ヒト（感染症）：ノロウイルスを含む吐物や糞便を処理した後、手に付いたウイルスを口から取り込むことが、感染する要因となります。



『食べる、口から取り込む』を防ぐ対策！

- ◆ 十分な加熱：牡蠣など二枚貝は、十分に加熱（85°C、1分間以上）して摂取しましょう。
- ◆ 流水と石鹼による手洗い：調理前・食事前・排泄後・吐物や糞便を処理した後などのタイミングで、手に付いたノロウイルスを洗い流しましょう。



注目!

ノロウイルス新型遺伝子GII.17について

ノロウイルスは多くの遺伝子型が存在し、どの遺伝子型も感染力が強い。GII.17においても、感染経路や症状・対処法は変わらないため、『新型』という言葉に惑わされず、上記の対策を行おう！

インフルエンザ【感染キーワード：鼻や口から吸い込む、粘膜】

インフルエンザに感染する要因



インフルエンザの主な感染経路

- ◆ 飛沫：インフルエンザに感染した人が、咳やくしゃみでウイルスを含む飛沫（しぶき）を飛散させます。その飛沫を鼻や口から吸い込むことが、感染する要因となります。
- ◆ 接触：ウイルスが手に付いた状態で鼻や口に触れると、その粘膜から感染する要因となります。

『鼻や口から吸い込む、粘膜（から感染）』を防ぐ対策！

- ◆ 流水と石鹼による手洗いや擦式アルコール製剤による手指消毒：帰宅後、ドアノブやつり革などに触れた後、咳やくしゃみを手で覆った後などのタイミングで、手に付いたインフルエンザウイルスを洗い流したり、消毒をしたりしましょう。
- ◆ 咳エチケット：咳やくしゃみがある場合は、マスクを着用し飛沫の飛散を防ぎましょう。また、周囲で咳をしている人には、マスクの着用を促しましょう。



中央検査室紹介

中央検査室の紹介

中央検査室は20名（臨床検査技師19名、助手1名）のスタッフから構成されています。中央検査室の業務内容は患者さんから採取された材料（血液、尿、痰、組織など）を検査する検体検査と患者さんの身体に直接触れて検査を行う生理検査に大きく分類されます。検査室ではこれらのデータを正確、迅速に医師に提供し、患者さんの診断と治療に貢献できるよう日々努力をしています。夜間・休日には日直当直体制をとっており、緊急検査にも24時間365日対応しています。

また、院内感染対策チーム（ICT）や栄養サポートチーム（NST）、糖尿病教室や血管診療センターなどチーム医療へも積極的に参加しています。

検体検査

- ・生化学検査（腎機能や肝機能などの検査）
- ・血液検査（貧血や血液凝固などの検査）
- ・一般検査（尿や便の検査）
- ・免疫血清検査（感染症や腫瘍マーカーの検査）
- ・輸血検査（輸血前の適合検査）
- ・細菌検査（病気の原因菌の検査）
- ・病理組織・細胞診断検査（癌などの診断検査）



本年度導入された血液検査機器

生理検査

- ・心電図（不整脈や心筋梗塞の検査）
- ・呼吸機能検査（肺活量の検査）
- ・超音波検査（腹部、心臓などのエコー検査）
- ・脳波検査（てんかんなどの検査）
- ・筋電図検査（筋肉や神経の検査）



顕微鏡で細胞をみています



中央検査室スタッフ



超音波検査



大規模災害訓練

大規模災害訓練を実施しました

12月5日(土)に院内での大規模災害訓練を実施しました。

午前10時の大震発生時には、自分の身を守るために安全行動「まず低く・頭を守り・動かない」をその場で行う「シェイクアウト訓練」を行いました。

続けて、職員約150名が参加して、対策本部の立ち上げから、関係機関やスタッフへの連絡、被災状況の確認、そして実際に重症度に応じた3か所の治療ゾーンの設置までを行い、初動体制確立までを確認しました。

いくつかの課題も出てきましたので、その意味でも有意義な訓練になりました。こうした訓練を通じ、普段から災害に対応する基本を身につけ、万一の事態に備えてまいります。



地震発生時はシェイクアウト(身を守る)



衛星電話で関係機関へ連絡



本部の設営に机を運ぶ



緑(軽症)エリアは内科外来へ設置



黄(中等症)エリアは外科・整形外来へ設置



赤(重症)エリアは点滴室へ設置



対策本部を1階ロビーに設置



最後に、消防署の方から全体の講評をいただきました。

文化祭を開催しました

「第28回文化祭を開催しました」

11月16日(月)・17日(火)の両日、市民病院文化祭を開催いたしました。

文化祭は、職員のクラブ活動の成果の披露の場、また、患者さんや地域の方々との交流の場として毎年開催しており、今回で28回目を迎えました。

職員による生け花や絵画、書、手芸作品の展示に加え、患者さんや市民の方々からも展示作品を募り、昨年を上回る87名の方が出展され、多くの作品が披露されました。

職員による恒例のお茶席やアロマテラピーによるハンドマッサージは今年も大盛況で、多くの方が訪れました。今回のお茶会では、女性職員だけでなく男性職員も着物姿でお運びを務めました。

院内の各部署ごとに作成する感染予防対策ポスターの展示も実施し、非常に多くの方々にご覧頂き、感染予防についての知識を深めていただくことができました。

患者さんのなかには、一度のみでなく、二度三度、会場に足を運んで楽しんで行かれる方もいらっしゃいました。

今回も、多数のご応募・ご来場をいただき、ありがとうございました。

次回の文化祭にも是非ご参加下さいますようお願いいたします。



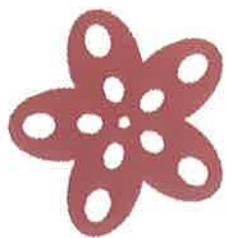
アロマテラピーハンドマッサージ



職員によるお茶席



生け花



フラワーアレンジメント



■ 診療受付時間 午前8時
土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日 午前8時30分から午前11時まで

■ 地域連携室番号
00884488447711115500(代)

尾道市立市民病院 科別診療割表

【地域連携室】TEL: 0848-47-1170 FAX: 0848-47-1171 【代表】TEL: 0848-47-1155 FAX: 0848-47-1004

2016/1/1現在

区分	科別	月	火	水	木	金	備考
内科	1 診	城戸 雄一 内科全般・糖尿病	水戸川 剛秀 内科全般	金尾 浩一郎 腎・内科全般	水戸川 剛秀 内科全般	松下 裕一 内科全般・糖尿病	
	2 診	杉山 晃一 内科全般・免疫疾患	開原 正展 腎・高血圧	開原 正展 腎・高血圧	金尾 浩一郎 内科全般	杉山 晃一 漢方外来	
	3 診			松下 裕一 内科全般・糖尿病	城戸 雄一 内科全般・糖尿病		
	4 診			杉山 晃一 内科全般・免疫疾患			
	5 診	藤野 寿幸			山脇 泰秀	山脇 泰秀	
総合診療科	1 診	西山 悠紀	内科担当医			藤澤 諭	
呼吸器内科	1 診	加藤 有加		片岡 幹男		大橋 圭明	
消化器内科	1 診	松本 栄治	平岡 佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 飲生	
循環器内科	2 診		宮部 飲生				内科3診で診療
神経内科	1 診	岩崎 淳	圓光 實希	高村 後行	高村 後行	小林 博夫	
外科	2 診	小林 博夫					
	診 療	岡本 美由紀				逸見 祥司	予約制
	1 診	中井 雅 肝・胆・脾・消化器	宇田 征史 消化器・鍼灸下	宇田 征史 外科全般	中井 雅 肝・胆・脾・消化器	村田 年弘 外科全般	
	2 診	外来担当医	上塚 大一 消化器・ペルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺・食道	
	血管外科	1 診	越智 吉樹		越智 吉樹		
乳腺外科	1 診					下妻 晃二郎 (乳腺外来)	9:00~12:00(予約制)
整形外科	1 診	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	
	2 診	迫間 巧将		木曾 洋平		迫間 巧将	
	3 診	岡田 卓巳		岡田 卓巳		鈴木 美穂	※1 鈴木(第1・3金曜日) 藤井(第2・4金曜日)
	4 診	木曾 洋平				鈴木/藤井※1	
	5 診	装 具				装 具	
形成外科	1 診	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	
小児科	1 診	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※2	井上 直樹	井上 直樹	※2 第3水曜日休診
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂	
2 診						岩戸 英仁	
産婦人科	新患再来 妊娠健診	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	
皮膚科	1 診	樺野 かおり	樺野 かおり	樺野 かおり	樺野 かおり	樺野 かおり	
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	河田 達志	大枝 忠史	別宮 謙介	大枝 忠史	
2 診	別室 謙介	大枝 患史	別室 河田	大枝 患史	河田 達志		
耳鼻いんこう科	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院より
眼科	診 療	諫見 久恵		諫見 久恵	諫見 久恵		9:00~14:00
放射線科	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	正岡 佳久	
	治 療	正岡 佳久	正岡 佳久	正岡 佳久	正岡 佳久		
歯科・歯科口腔外科		片山 敦久(予約)					
午前		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘	
午後	内 科	検診	検診	検診	検診	検診	※3 第2・4水曜日
	総合診療科			フットケア外来※3			
	消化器内科	検査	検査	検査	肝臓専門外来 (中井/河合)	検査	
	循環器内科	禁煙外来(岩崎)	ペースメーカー外来※4				
	循環器内科検査	心カテーテ	経食エコー	心カテーテ	経食エコー	心カテーテ	※4 第1・2火曜日 14:00から 13:00~17:00
	血管診療センター	検査	検査・診療		検査		
	外 科	手術	検査	手術	検査	手術	第2・4月曜日
	血管外科	ストーマ外来(澤井)					
	乳腺外科	手術		手術		手術	
	整形外科	手術		手術		手術	
	形成外科						
	小児科	検査	乳児検診 栄養指導	小児科専門外来 (塚原)※5	神経外来(林)※6	循環器外来(脳)※7	※5 第2・4(14:00~16:30) ※6 第1木曜日 ※7 第4金曜日(偶数月)
	脳神経外科	予防接種					
産婦人科	検査	手術	検査	手術	検査	14:00から	
	頭痛外来(土本)						
		母乳外来	母乳学級(第3週)	母乳外来	1週間検診		
		1ヶ月検診					
		手術		手術	手術		
皮膚科	検査	手術	手術	検査	検査		
	認知症外来						
		手術					
		検査					
		睡眠時無呼吸外来(佐々木)					
耳鼻いんこう科	諫見 久恵						
	眼 科	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	14:00まで
	放射線科	血液造影					予約制
		治療(澤井)					
専門外来	歯科・歯科口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制
		禁煙外来	ペースメーカー外来 (第1・2週)	フットケア外来 (第2・4週)	肝臓専門外来	乳癌外来(午前) 小児神経外来 (第1週)	予約制
		ストーマ外来 (第2・4週)	睡眠時無呼吸外来	乳癌外来	小児循環器外来 (偶数月/第4週)		
		頭痛外来	小児科専門外来 脳ドック外来				

1. 休診日：・・・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日 2. 診療受付時間：・・・午前8時30分から午前11時まで

※変更箇所

